

府中市 図書館だより

平成22年12月28日
発行 府中市立図書館

第16号

開館50周年を 迎えるにあたって

平成23年(2011年)は、府中市立図書館が旧府中町役場跡に開館してから、50周年になります。

昭和36年(1961年)の開館当初は、蔵書2千冊、館内閲覧でした。

現在は、市内の図書館数は13、蔵書は中央図書館だけでも80万冊を超えています。また、蔵書

目録はコンピュータ化されて、瞬時に求める資料の所在がわかるようになっていきます。新中央図書館への来館者数は、開館3周年を待たずに、平成22年10月半ばに300万人を達成しました。

今年(2010年)は、新型情報端末の発売や電子書籍の有料配信など、本や情報を取り巻く環



境が大きく変わり始めた1年でした。図書館の姿も今後大きく変わらざるを得ないのですが、市民生活を情報の面で支える社会基盤としての役割は不変です。

過去と未来を情報の面で結ぶ存在として、開館以来50年間に形づくられた80万冊の蔵書の活性化が、ひとつの重要なキーワードにな

ると考えます。貴重な資産を書庫に眠らせることはできません。

平成23年は、これまでの50年とこれからの50年を、皆さんと一緒に見つめ考える1年間になりたいと考えています。

府中市立図書館長 桜田 利彦

図書館夜間講座 「民俗学者・宮本常一と府中の文化」

平成23年(2011年)は、日本を代表する民俗学者、宮本常一^{つねいち}氏(1907~1981 武蔵野美術大学名誉教授・文学博士)の没後30年にあたります。

山口県に生まれた同氏は柳田國男や渋沢敬三に認められ、日本全国を旅して、『忘れられた日本人』や『日本の離島』など、多くの著作と写真を遺しました。晩年の約20年間を府中市新町で過ごしており、その間『府中市史』などの編さんに関わり、府中市文化財専門委員会議長や府中市史談会顧問をつとめました。

奇しくも本講座の4日後、1月30日は氏の命日にあたります。民俗学に興味のある方、昔の暮らしやその様

子を写した写真に関心のある方、昔の府中を振り返ってみたい方など…、氏の業績をしのびつつ、図書館の夜間講座に耳を傾けてみませんか？

日時／平成23年1月26日(水)
午後6時半～午後8時半

会場／ルミエール府中1階 第1・2会議室

講師／府中市郷土の森博物館学芸員・佐藤智敬氏

対象／16歳以上の方 定員／先着40名

申込受付／平成23年1月5日(水)から

午前9時～午後7時の間に中央図書館に電話
または来館(5階)にて受付

図書館の調べもの

3

中央図書館のレファレンス・コーナーには、毎日色々な質問が皆様から寄せられています。前回に引き続き、第16号では、冬らしいテーマの調べもの事例をご紹介します。〔紹介させていただいた本は、最後にリストにして載せてあります。〕



雪だるまはいつ頃から、どのような経緯で作られるようになったのでしょうか？

①日本の雪だるまは…^①

雪玉を転がして大きくする遊びは、平安時代にはすでに行われていたようです。紫式部の『源氏物語』には、童女たちが雪玉を転がして遊ぶ様子が描かれています^②。

この雪玉を重ねて、だるまを作るようになったのがいつの頃からなのか、はっきりとはわかっていません。ただ、室町時代初期の勅撰和歌集『新拾遺和歌集』(1363)十七に、瞻西上人(せんさいしょうにん)の歌「いにしへの鶴の林の……」があり、「雪にて丈六の佛(ほとけ)をつくり奉りて、供養すとてよめる」^③という詞書(ことばがき)がついています。また、吉田兼好の『徒然草』(第166段)には、「春の日に雪仏を作りて」^④とあります。

そもそも、赤い張り子の元祖「だるま」さんは、達磨大師の座禅姿を真似たものといわれていますから、雪玉が人型をとるようになったことは、宗教的な意味合いと無縁ではなさそうです。

日本古来の雪だるまは、目や鼻に炭や炭団(たどん)を使いましたが、近年では炭団を身近で見かけることも少なくなってしまいました。

②西洋の雪だるまは…

鼻ににんじんをつけるのは、西洋の作り方のようです。英語では「スノーマン」と呼ばれます。「スノーマン」と聞いて、ブリッグスによる同名の絵本^⑤を思い出す方も多いでしょう。雪玉は日本では2つですが、西洋では3つ重ねます。これは、日本の雪だるまが座禅、す

なわち座った姿をかたどっているのに対し、西洋では人の立ち姿をかたどっているからだと言われています。

スイスのチューリッヒには、春になると「ゼクセロイテン」というお祭りがあり、かわいらしいスノーマンを見ることができます。冬を追い払い、春を招く催しとして、広場に積んだ薪の上にベグと呼ばれる張り子のスノーマンが立てられ、冬の象徴として炎で焼かれるのです^⑥。

スノーマンの起源については、洋書で“The History of the Snowman”^⑦(スノーマンの歴史)というタイトルの資料がありました。雪だるまは有史以前から、信仰の対象、遺体の保存といった目的のほか、遊びの中で自然発生的に作られてきたと推測されていますが、現存する明確な証拠としては、1380年ごろに描かれたユダヤ人を模した雪だるまの絵が、最古のものだということです。この本はカラー写真も多く、英語が読めない方でも十分に楽しめます。

③つくってみよう雪だるま

近年、関東では雪だるまが作れるほどの積雪は稀ですが、それでももしこの冬たくさん雪が降ったら、ぜひ雪だるまを作ってみましょう。転がす方向を少しずつ変えながら球形にしていくと、きれいな玉になります^⑧。また、下記⑨の本には、卵白を使った食べられる雪だるまの作り方が載っています^⑨。

薪や炭で暖をとった昔、冬は多くの人にとって今よりもっと厳しく、忌むべきものだったのではないのでしょうか。そんな厳しい冬を少しでも明るい気持ちで乗り切るために、人々は雪だるまなど、冬ならではの遊びを考え出したのかもしれない。

*ページ下部に参考文献を挙げています。カッコ内の数字は、府中市立図書館での請求記号です。



参 考 資 料

- ① 『江戸の子ども遊び事典』(中田幸平/著 八坂書房 384/ナ)p.374～
『日本児童遊戯集』(大田才次郎/編 平凡社 781/オ)p.70
- ② 『源氏物語 巻4』(瀬戸内寂聴/訳 講談社 913.3/ム)p.71
- ③ 『古事類苑 天部歳時部』(吉川弘文館 031/コ/1)天部三 雪 以雪作雑物形 p.224
- ④ 『新訂 徒然草 ワイド版岩波文庫16』(西尾実、安良岡康作/校注 岩波書店 914.4/ヨ)
『古典鑑賞 徒然草の世界 上』(安良岡康作/著 教育出版 914.4/ヤ/1)
- ⑤ 『スノーマン』(レイモンド・ブリッグズ/作 評論社 E/ブ/ベストブック)
- ⑥ 『図説ヨーロッパの祭り』(谷口幸男、遠藤紀勝/著 河出書房新社 386/タ)p.70～
『仮面 ヨーロッパの祭りと年中行事』(遠藤紀勝/著 社会思想社 S386/エ/ブンコ)p.148～
『スイス探訪 したたかなスイス人のしなやかな生き方』(國松孝次/著 角川書店 302.3/ク)p.150～
『世界の祭り子ども I 世界編4-6月』(西田敬/写真・文 大日本図書 38/セ)p.6～
- ⑦ 『“The History of the Snowman” (Bob Eckstein Simon Spotlight Entertainment ENG/759/E)
- ⑧ 『雪遊び達人ブック』(雪遊び達人倶楽部/編著 いかだ社 784/ユ)p.52～
- ⑨ 『人生に必要な知恵は遊びから 春夏秋冬たのしい遊び100』(糸井雅美/著 学事出版 376.1/イ)p.105



四谷図書館

四谷図書館は、昭和53年に開館し、昨年、四谷文化センターの耐震工事に伴い、約半年間休館したあと、館内の明るさを増して再オープンしました。府中市の南西部に位置し、近くには多摩川が流れ、田畑や緑もたくさん残っています。

季節に合わせた特集棚も作り、皆様のご来館をお待ちしています。



所在地 府中市四谷2-75 四谷文化センター2階
 電話 042-360-3663
 開館時間 午前9時～午後5時
 蔵書数 約3万4千冊
 ※休館日は第1・3月曜日、祝日、年末年始

ご案内

おはなし会の 日程1月～3月

おはなしの森

対象 / 3歳～小学生（保護者同伴可）

●中央図書館

日時 /

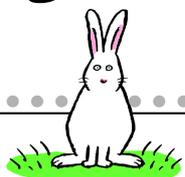
- ①1～3月の毎週木曜日 午後3時半～4時
- ②2月5日、3月5日（各日土曜）
午前11時～11時半

●地区図書館

時間 / 午後3時半～4時

日程 /

- 押立図書館
…… 1月5日、2月2日、3月2日（各日水曜）
- 四谷図書館
…… 1月6日、2月3日、3月3日（各日木曜）
- 白糸台・西府・新町図書館
…… 1月12日、2月9日、3月9日（各日水曜）
- 是政図書館
…… 1月13日、2月10日、3月10日（各日木曜）



武蔵台図書館

…… 1月19日、2月16日、3月16日（各日水曜）

片町図書館

…… 1月20日、2月17日、3月17日（各日木曜）

紅葉丘図書館

…… 1月26日^(注)、2月23日（各日水曜）^(注)紅葉丘図書館は1月26日のみ午後2時半～3時

住吉図書館

…… 1月26日（水）、2月24日（木）、3月23日（水）

生涯学習センター図書館

…… 1月26日、2月23日、3月23日（各日水曜）

ちいさい子のおはなし会

対象 / 1・2歳児と保護者

●中央図書館

日時 / 1～3月の第2・4木曜日 午前10時半～11時
 その他 / おはなし会の後に絵本のプチ講座も行います。

●地区図書館

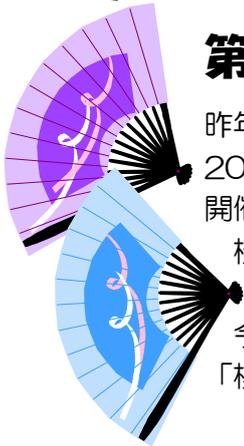
日時 / 地区図書館「おはなしの森」と同日の
 午前10時半～11時



おはなしの森では絵本や昔話の読み聞かせを、ちいさい子のおはなし会では赤ちゃん絵本の読み聞かせやわらべうたを行っております。

冬のイベント紹介

落語会のほか、2月には大人のためのバレンタイン朗読会や、起業・開業を考えるビジネス支援講演会を企画しています。



第三回 新春「府中寄席」桂扇生の落語会

昨年度の好評にお応えして、2011年も、新春「府中寄席」を開催いたします。

桂扇生さんの伝統芸の妙を、ぜひご堪能下さい。

今回の演目は「桃太郎」「宿屋の富」です。

日時／平成23年1月30日(日)
午後2時半～4時(開場 午後2時)
会場／ルミエール府中 2階 レクリエーションルーム
持ち物／会場は土足では入れないため、上履きと靴を入れる袋をご持参下さい
対象／一般(入場無料)
定員／120名(事前申し込み優先 先着順)
申込方法／1月11日から中央図書館に電話または5階で受付



中央図書館の行事予定

●催しは予約制です。

1月

23日(日) 図書館ガイドツアー
29日(土) 本の探し方ツアー(OPACの使い方)
30日(日) 第三回新春府中寄席
31日(月) 臨時休館(全館)

2月

3日(木) 菱山裕子氏講演会
12日(土) バレンタイン朗読会
19日(土) 本の探し方ツアー(OPACの使い方)
よむよむ探検隊
23日(水) 図書館ガイドツアー
26日(土) ビジネス支援講演会

3月

11日(金) レファレンス講座
19日(土) 本の探し方ツアー(OPACの使い方)、科学あそび講座
26日(土) 図書館員体験ツアー
27日(日) 図書館ガイドツアー

掲 示 版

お知らせ
その1

■小学生のためのブックトーク ～よむよむ探検隊

中央図書館では、小学4～6年生を対象としたブックトークを行っています。テーマで集めたいろいろな本を楽しく紹介しますので、当日、ぜひ会場においでください。(申込み不要、先着30名)

日時:2月19日(土) 午前10時半～11時半
会場:中央図書館3階じどうしつ おはなしのへや
対象:小学4～6年生
テーマ:「まいにちが冒険！」

お知らせ
その3

■全館休館のお知らせ

1月31日(月)は図書館システム停止のため、図書館は市内全館で休館となります。

お知らせ
その5

■休館のお知らせ

▽蔵書点検のため、次の日程で休館します。

館名	日程
3月 紅葉丘・四谷・片町図書館	22日(火)～24日(木)

お知らせ
その2

■年末年始のお知らせ

12月29日(水)から1月3日(月)まで、市内の図書館は全館休館します。(中央図書館は1月4日(火)まで)。

この期間中、地区図書館と生涯学習センター図書館のブックポストは閉鎖しますので、資料の返却は1月4日以降にお願いいたします。3日までに返却される方は、中央図書館のブックポストをご利用下さい。

お知らせ
その4

■白糸台図書館 臨時休館のお知らせ

▽白糸台図書館は、館内レイアウト変更のため、次の日程で休館します。

平成23年2月21日(月)～2月23日(水)まで。

休館中にご迷惑をお掛けしますが、ご理解ご協力をお願いします。なお、白糸台図書館は、2011年6月で開館40周年を迎えます。

お問合せ

府中市立中央図書館
〒183-0055 府中市府中町2-24
TEL 042-362-8647
ホームページアドレス
<http://library.city.fuchu.tokyo.jp>